

院内肝炎ウイルス対策電カルアラート活用等による非専門医からの受検率の向上

研究分担者：寺井 崇二	新潟大学医歯学総合病院	肝疾患相談センター
研究協力者：上村 博輝	新潟大学医歯学総合病院	肝疾患相談センター
研究協力者：坂牧 僚	新潟大学医歯学総合病院	肝疾患相談センター
研究協力者：薛 徹	新潟大学医歯学総合病院	肝疾患相談センター

研究要旨：平成 30 年度診療報酬改定 において、手術前医学管理料として、【本管理料に包括されている肝炎ウイルス関連検査を行った場合には、当該検査の結果が陰性であった場合も含め、当該検査の結果について患者に適切な説明を行い、文書により提供すること】という記載が追記された。

新潟大学医歯学総合病院においても電子カルテシステムに 2017 年 1 月～肝炎アラートシステムの導入を行い、他科の術前検査を中心に肝炎検査陽性となったものに対して、消化器内科への受診勧奨を行っている。本アラートへの集計を行い、院内における肝炎検査陽性者の動向の追跡調査研究を行った。

A. 研究目的

ウイルス肝炎はわが国の国民病と位置づけられ、約 350 万人のキャリアが存在すると推定されている。

肝炎ウイルス検査は、本人が自覚的に受検する場合と、大きな外科手術や妊娠・出産時などに必ずしも本人が自覚しないうちに受検する場合がある。

肝炎ウイルス検査を「受けた」と回答し、かつ、受検した検査の種類を「HBV and/or HCV」と回答した者が肝炎ウイルス検査の「認識受検者」であり、肝炎ウイルス検査を「受けたことがない」又は「分からない」と回答し、かつ、「1982 年以降に大きな外科手術をした」、「1986 年以降に妊娠出産をした」、「1973 年以降に献血をした」のうち、少なくとも 1 つ以上に回答している者が HBV 検査の「非認識受検者」と定義されている。

リツキシマブをはじめとした、抗癌剤投与による HBV 再活性化の事例が報告されはじめ、各病院において電子カルテに肝炎陽性者のアラートシステムを導入し、専門チームが形成されるなどの、その対策が急務

とされている。

HBV 既感染者がステロイドなどの免疫抑制療法・抗がん剤をはじめとした全身化学療法を受けた場合に HBV が再増殖することを、HBV 再活性化という。肝臓学会では HBV 再活性化の危険性を有する薬剤が up date され、処方時の注意喚起が行なわれている。最新の治療ガイドラインには、免疫抑制療法・全身化学療法施行前には全症例で HBs 抗原測定が必要であると記載されている。

HBs 抗原が陰性の場合には HBc 抗体と HBs 抗体を測定し、既往感染の有無を確認する。HBc 抗体と HBs 抗体の両者またはいずれかが陽性の場合には、HBV DNA 測定によるモニタリングが必要とされている。

平成 30 年度診療報酬改定 において、手術前医学管理料として、【本管理料に包括されている肝炎ウイルス関連検査を行った場合には、当該検査の結果が陰性であった場合も含め、当該検査の結果について患者に適切な説明を行い、文書により提供すること】という記載が追記された。

このように全診療科において、ウイルス性肝炎に対する周知を行い、もれなく検査

を施行することが理想的であるが、専門科以外の医師がそれを遵守することは困難である。

そこで 2017 年 1 月から電子カルテのアラートシステムの導入を行い、HBs 抗原陽性、HCV 抗体陽性であった場合にアラートメールを自動発信させるシステムを追加した。

B型肝炎検査(HBs抗原)陽性に対するコメント

この度、XXXX年X月X日に行われました0000殿(ID:XXXXXXXX)のHBs抗原検査が陽性と判定されました。

B型肝炎は個人により、炎症線維化の進展具合は様々ですが、HBs抗原が陽性の方は必ず定期的な採血、画像検査が必要になります。

受診歴のないまま放置されると、患者様に不利益が及ぶばかりでなく将来問題になる可能性があります。検査後は必ず結果を確認し、患者様に説明してください。

+++++

B型肝炎は個人により、炎症線維化の進展具合は様々ですが、HBs抗原が陽性の方は必ず定期的な採血、画像検査が必要になります。受診歴のないまま放置されると、患者様に不利益が及ぶばかりでなく将来問題になる可能性があります。検査後は必ず結果を確認し、患者様に説明してください。

消化器内科
肝疾患相談センター

C型肝炎検査(HCV抗体)陽性に対するコメント

この度、XXXX年X月X日に行われました0000殿(ID:XXXXXXXX)のHCV抗体検査が陽性と判定されました。

本件に関して消化器内科医に受診し判断を仰いだことがない方は、一度消化器内科外来にご紹介ください。

紹介状には、本メールをcopy & pasteで頂いて頂か転送し、現病及び既往を簡単にまとめ、内服薬剤を記載してください。

+++++

現在C型肝炎の治療法は進歩し95%以上の方で副作用がほとんどなく飲み薬でウイルスが消えるようになりました。受診歴のないまま放置されると、患者様に不利益が及ぶばかりでなく将来問題になる可能性があります。検査後は必ず結果を確認し、患者様に説明してください。

消化器内科
肝疾患相談センター

B. 研究方法

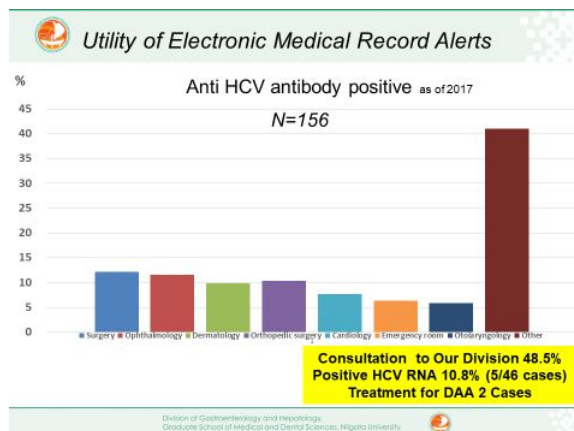
2017 年 1 月～電子カルテのアラートメールを発信した、1200 通に関して、自科の肝炎での通院患者を除く、HCV 抗体陽性患者、HBs 抗原陽性患者の動向調査を行った。

C. 研究結果

HCV 抗体陽性の集計については(消化器内科以外での order) 156 例であった。内訳としては消化器外科 19 例(12.2%)、救急科 10 例(6.4%)、眼科 18 例(11.5%)、皮膚科 9 例(5.8%)、整形外科 16 例(10.3%)、耳鼻咽喉科 9 例(5.8%)、循環器内科 12 例(7.7%)、その他 64 例。このうち、受診の必要があるもので紹介率は 48.59%であった。

HBs 抗原陽性例の集計(消化器内科以外での order) 93 例であった。

眼科 11 例(11.8%)、泌尿器科 8 例(8.4%)、整形外科 8 例(8.4%)、耳鼻咽喉科 6 例(6.5%)、循環器内科 6 例(6.5%)、脳神経外科 6 例(6.5%)、腎臓病内科 6 例(6.5%)、その他 42 例であった。このうち、受診の必要があるもので紹介率は 58.9%であった。



D. 考察

アラートメールは術前検査行う科において多く発信されているが、今回の検討では救命センターなどにおいても散見された。HCV 抗体が陽性であったとしても、HCV-RNA 陽性率 10.8%(5/46)にとどまった。また HCV 治療率 2.2%(1/46)であった。HBs 抗原陽性に関しては HBV-DNA 陽性率 81.6%(31/38)であり、核酸アナログ導入となった HBV 治療率は 22.6%(7/31)であった。

E. 結論

肝炎治療は新薬が次々承認され、治療法の進歩は目覚ましいものがあり、肝炎は重症化が予防できる疾病になりつつある。肝炎患者を早期に発見し、最新の治療に繋げるためのフォローアップシステムの構築及び肝炎コーディネーターの活用が今後の肝炎対策にとって重要となる。また、他科の講演会や他科受診層患者へむけたフリーペーパーへの肝炎検査受診勧奨も重要であり、その活動を継続している。



肝炎医療コーディネーター講習会

上越市民プラザ(上越市)



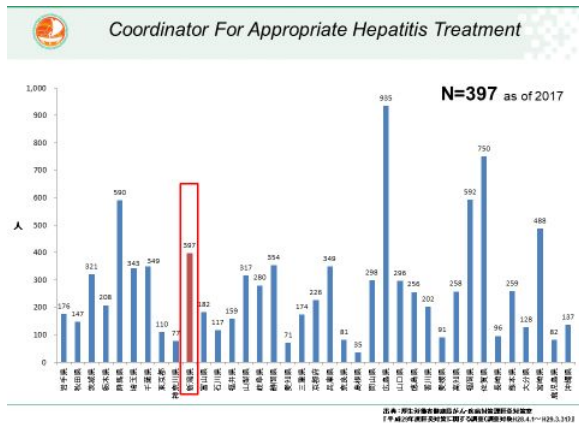
新潟大学医療人育成センター(新潟市)



県内各地で肝炎医療コーディネーターの講習会を行い、県内全体での充足を図っている

Division of Gastroenterology and Hepatology,
Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University,
1-527 Asahimachi, Niigata 951-8512, Japan. Phone: +81-95-273-2850. Fax: +81-95-273-2178.







協会けんぽ通信への広告

平成30年3月分(4月補付分)から保険料率が改定されます

平成30年度も新設された保険料率は「全国で最も安い保険料率」となります

3 けんぽ通信

肝炎ウイルス検査を受けましょう!

肝炎治療はめざましく進歩しています! 1度検査を受けてみてください。

ウイルス性肝炎は慢性肝炎から肝硬変、肝がんへの進展の可能性があり、早期に発見し適切な治療を受けることが重要です。

B型肝炎、C型肝炎とも新しい治療薬が開発され、より有効性が高く、より副作用が少ない治療ができるようになってきています。

肝炎検査を受けて、新薬で治療を受けることができるのを待ちましょう。協会けんぽの生活習慣病予防相談や職場健診、市町村の検診で、ぜひ、一度、肝炎検査を受けてください。

新潟大学医療人育成センター 肝炎相談センター
TEL: 025-223-6192 E-MAIL: liver@med.niigata-u.ac.jp
—私たち肝炎相談センターは検査、受診と診察、救済の三点の連携を築いています—

Division of Gastroenterology and Hepatology,
Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University,
1-527 Asahimachi, Niigata 951-8512, Japan. Phone: +81-95-273-2850. Fax: +81-95-273-2178.



子育て世代へのフリーペーパー掲載による受診勧奨

あなたのかわいいわが子のために
肝炎ウイルス検査を受けましょう



はっぴーママ
2018年7-8月号への掲載

Division of Gastroenterology and Hepatology,
Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University,
1-527 Asahimachi, Niigata 951-8512, Japan. Phone: +81-95-273-2850. Fax: +81-95-273-2178.



F. 健康危険情報 なし

G. 研究発表

1. 発表論文

- (1) 新潟県におけるウイルス性肝炎の動向と各啓発活動状況 上村博輝, 坂牧僚, 寺井崇二 **肝臓** 59(Supplement 1) A537-A537 2018年4月
- (2) 新潟県における肝炎検査未受検者に対する肝炎啓発の取り組み 坂牧僚, 上村博輝, 寺井崇二 **肝臓** 59(Supplement 1) A537-A537 2018年4月
- (3) Recent Trends of Viral hepatitis in the Niigata Prefecture Hiroteru Kamimura, Akira Sakamaki, Shuji Terai APASL Single Topic Conference 2018 yokohama

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし